

## 英語ディベートを授業に取り入れるための指導計画

### 【高校3年間指導計画】

学年	科目名 ( ) 内単位数	内容	具体的到達目標
1	コミュニケーション英語Ⅰ (必修3)	4技能を総合的に指導	論証文を分析しながら読むことができる(*1)。言い換えたりまとめたりすることができる(*2)。その他インフォーマルなディベート活動ができる(*3)。
	英語表現Ⅰ (必修2)	話したり書いたりする言語活動を中心に指導	トピックセンテンスを書くことができる。論証文を書くことができる。
2	コミュニケーション英語Ⅱ (必修4)	4技能を総合的に指導	肯定・否定・審判、というディベートにおける3役を体験することができる(*4)。
	英語表現Ⅱ (必修2)	話したり書いたりする言語活動を中心に指導	書面ディベートができる(*5)。
3	コミュニケーション英語Ⅲ (必修4)	4技能を総合的に指導	論証文を分析しながら読むことができ、自分でもある程度の長さの論証文を書くことができる。制限時間を意識して自分の意見を表現することができる。
	英語会話 (必修2)	実際の会話に即した言語活動を取り入れながら、話したり書いたりする言語活動を中心に指導	フォーマルなディベート活動ができる。

\*1 (1)論証文の構成、(2)著者の立場、(3)著者の主張の理由、(4)理由の裏付け、などを分析する。

\*2 英英辞典の使い方を指導

\*3 ピンポン・ディベート、ブレインストーミング、チョークディベート、テーブル・ディベート

\*4 3人1組のテーブル・ディベート

\*5 最初にある論題に対する肯定意見を書いた後、自分のワークシートを回して、他の人

のワークシートを受け取ったら、反論を書く。次のワークシートには肯定意見を立て直し、その次のワークシートには再反論。自分が最初に書いたワークシートを受け取り、他の人の議論を読む。

【高校1年生年間計画】

学期	月	授業目標	授業内容・活動	学校行事
前期	4	ディベート理解	ディベートの説明。ディベート大会のビデオを見せる。	入学式
	5	スピーチ発表の基礎理解	ペアワーク・グループワーク。聞き手にはスピーチを再現したりまとめたりする活動を導入。	東播大会、文化部発表会、5月考査
	6	反論・反駁の仕方	論題を提示し、反論・反駁の流れを指導して、裏付けとなる根拠を考えさせる。	県総合体育大会、体育祭
	7		スピーチ発表を成績評価に入れる。休暇中の学外のディベート行事の紹介	7月考査、球技大会
	8			
後期	9	質疑応答の型を学ぶ	テキストの著者との質疑応答というロールプレイ。	課題実力考査
	10	インフォーマルなディベート活動①	ピンポン・ディベート(**1)	後期始業式、秋季東播体育大会、10月考査
	11	インフォーマルなディベート活動②	ブレインストーミング、チョーク・ディベート(**2)	秋のイベント
	12	インフォーマルなディベート活動③	書面ディベート	12月考査
	1	インフォーマルなディベート活動④	4人一組のテーブル・ディベート(**3)	課題実力考査
	2	振り返り	振り返りシートに記入	生徒会長選挙、卒業式
	3	来年度以降の計画		3月考査、球技大会、終業式